

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	酒田北港緑地展望台	指定管理者	NPO法人山形県リサイクルポート情報センター
所在地	山形県酒田市高砂231	県担当課	港湾課
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日	(電話番号)	(023-630-2447)
検証期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況		
① 管理・運営業務の履行状況	・ 協定書と仕様書に従い、適正に業務を履行することができた。	評 価 A <評価の理由> 協定書や仕様書に基づき、施設・設備の管理、保守点検及び施設利用の調整について、適正に実施されていた。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	・ 1階照明器具の不具合が見られ、来館者アンケートで「エレベーターまでの導線が分かりにくい」との意見もあったことから、案内POP等による誘導表示の充実に努めていく。	<課題等の原因分析> ・ 施設の老朽化に伴い、管内設備に不具合等が発生している。
課題、問題点への今後の対応	1階照明器具の不具合については、令和8年度の県予算で修繕を予定している。そのほか、維持管理に必要な消耗品や軽微な修繕が生じた場合は指定管理料からの支出で対応するなど、県と指定管理者で情報共有を図りながら来館者の満足度向上に努めていく。	
2 利用者からの要望等への対応		
① 意見・要望等及びその対応状況	・ アンケートにおいて、「館内BGMの音量が大きく、資料映像の解説が聞き取りにくい」との意見をいただいた。来館者の状況に応じた音量調整や楽曲選定を行い、視聴環境の改善に努めている。	評 価 A <評価の理由> アンケート用紙を設置し、積極的に来館者からの意見・要望を聞き取り、運営に有効活用している。
意見・要望等への今後の対応	来館者から記入いただいたアンケートの内容を分析し、来館者の性質・ニーズに沿った運営を行うとともに、魅力的な自主事業の展開に期待したい。	
3 指定管理者制度活用効果		
① サービスの向上	・ 見学予約団体へのガイドを実施するとともに、小学校見学では質問票を活用し、結果を学校へフィードバックするなど、学習効果の向上に努めた。また、SNSによる情報発信の充実、クルーズ船寄港時の開館対応、予約見学の早期開館及び休日開館など、利用者ニーズに応じた柔軟な運営を行った。 【効果】 利用者の利便性向上と満足度向上につながり、小学校見学では教員から丁寧な対応との評価を多数いただいた。令和7年度は新規利用校の参加もあり、昨年度利用校のリピーター率はほぼ100%となった。また、見学ツアーガイド利用者は84団体1,524名となり、過去最高の実績となった。酒田港に対する理解促進と地域資源の学習機会の提供につながった。	評 価 A <評価の理由> 洋上風力発電関係事業者の見学のほか、各学校での校外学習に欠かせない施設となっており、丁寧な説明と質問票を活用した手厚い対応が評価され、リピート利用が非常に増えている。
② 経費の節減	・ 館内掲示物や見学用資料については、既存資料の活用や職員による作成を行い、経費を抑制しながら利用者サービスの向上に努めた。また、館内で紹介している観光・企業情報については、県内観光行政機関やNPO会員企業からパンフレット等の提供協力をいただき、地域との連携を図りながら経費節減と展示内容の充実を図った。	評 価 A <評価の理由> 来館者数の推移動向を分析し、開館時間の調整等、柔軟な対応を行ったことで光熱費等の経費削減に努めた。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・ 観光関係機関、港湾関連企業及び地域団体との連携を図りながら、酒田港及び展望台の認知度向上に取り組んだ。庄内観光コンベンション協会主催のスタンプラリーへの参加や緑地公園イベントへの協力、つや姫ハーフマラソン事務局と港湾団体との調整を行った。また、県内観光情報や地域情報を紹介するパンフレット等を設置し、来館者サービスの向上に努めた。さらに、地域企業と連携した酒田港見学ツアーを実施し、参加者から高い評価をいただくなど、酒田港への理解促進につながった。	評 価 A <評価の理由> 展望台としての機能だけでなく、県内各地方のパンフレットを取り寄せるなど当該施設周辺に少ない観光案内所としての機能も果たしている。また、各種イベントにも積極的に協力し、地域団体との連携に取り組んでいる。
総合的な評価	一般の見学客のほか、洋上風力発電関係事業者、小学校の校外学習、外航クルーズ船の観光客といった様々な来館者に対して、柔軟な対応で満足度の向上に寄与している。近隣での熊出没といった不測の事態においても、来館者の安全を考慮して迅速に対応している。 また、NPO法人として各種助成事業に積極的に手を挙げ、自主事業に向けて自ら予算の獲得に動いており、令和8年度はやまがた社会貢献基金協働助成事業に採択されたことから、今後の取り組みに期待したい。	

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。